



夏学タイムズ 2018.8

女子中高生夏の学校実行委員会

国立女性教育会館

〒355-0292

埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728 番地

TEL: 0493-62-6724・6725

FAX: 0493-62-6720

<https://natsugaku.jp/>



ナツ ガク

女子中高生 夏の学校 2018

～ 科学・技術・人との出会い～



夏学、ここにしかない出会い

こんにちは!

突然ですが、みなさんにはどんな将来の夢がありますか？
その夢のためにみなさんはどんな人生を歩んでいくのでしょうか？
将来の自分のキャリアについていつもより具体的に考えてみましょう!

夏の学校では、2日目の学生企画「キャリアプランニング」
で自分の将来のキャリアについて考えます。3日目の「キャリア
プランニング発表会」では自分が思い描いたキャリアについて
みんなで発表しあいます!

夏学にはここでしかない出会いがたくさん待っています。この環境を
生かしていろんな人と積極的にお話してみてください。目の前のその人の
言葉が自分の未来を変えてくれるかもしれません。この夏、今の自分には
ない新しい考え方に触れてみましょう!

2018 学生企画委員長
慶應義塾大学学部 4年 小暮純子

[写真は2017年のものです]



参加した中高生の声(2017)

全国から集まった 仲間との濃い3日間

- ・私はとても内気な性格でとても緊張したのですが、TAの人や班の人など沢山の人に助けられて、充実した3日間を過ごせました。
- ・「シェアトーク」で自分の意見や相手の意見を聞くことにより、緊張よりも「話し合いがしたい」という気持ちが強くなった。
- ・同じ将来の夢の人があまり身近にいないので、同じ夢を目指している人と生活し、自分の夢について沢山相談できてよかったです。



親身に相談に 乗ってくれる 大学生TAさん

- ・大学院に進学するか迷っていたが、院生のTAさんなどの人生の先輩方と話をすることでイメージが付いて、進学しようと思っている。
- ・文系から来た人や文系に移った人の

話が、理・文選ぶ立場からするとすごくためになった。

ポスター展示から 様々な仕事に触れる

- ・普通に生活していたら絶対会わないような人と会えて、いろんな話をできた。
- ・夢に向かう道は一つに限定されているわけではなく、夢を追い続ければいつか叶うかもしれないということがわかった。
- ・悩んでいましたが、好きなこと、やりたいうことをやった方がいいということも多くの方が言って下さり、前向きに考えたいと思いました。



新たな発見が たくさん

- ・自分が知っているよりも多くの仕事が理系と関わりがあることを知った。
- ・自分の知らない職業がとにかくたくさんあったなというのと、実際に働いてい

- る人のお話なので、ネットや本では味わうことのできない経験ができたと思う。
- ・今までは自分が好きなことにしか興味がなかったが、様々な分野の研究者の方や先生とお話することができ、視野が広がった。
- ・私自身自分の意見をたくさん言えたことに驚いた。

憧れの女性像に 出逢う



- ・女性が自分の好きなことを見つけてたくさん活躍していることを肌で感じました。
- ・大学生とポスター展示で話してこの人達みたいになりたいと思い、勉強を頑張りたいなと思ったことがとても良かったです。
- ・理系に進んだ方々やTAさんがキラキラしていてかっこいいと思いました。
- ・研究者、技術者さんのように話が止まらないほど夢中になれることを見つきたい。

実行委員長からのメッセージ - 夏学の魔法

ようこそ、夏学へ。

私はここ5年間夏学に参加し、すっかりその魅力に取りつかれてしまいました。というよりむしろ、その魔法にかけられてしまったのです。

真夏の会場は初めて会う人ばかり、緊張と高揚で自分を飾っている余裕がなくなって、つい素の自分が出てしまう。そして、気がつく。「えっ！自分ってこういう考えだったんだ。」皆さんも、ぜひ、多くの人との出会いの中でシンプルな自分を見つけて下さい。

2018企画実行委員長 山本 文子(日本物理学会/芝浦工業大学教授、写真中段・左から2人目)

